

●東海地震の想定震源域及びその周辺における平成 26 年（2014 年）の地震活動

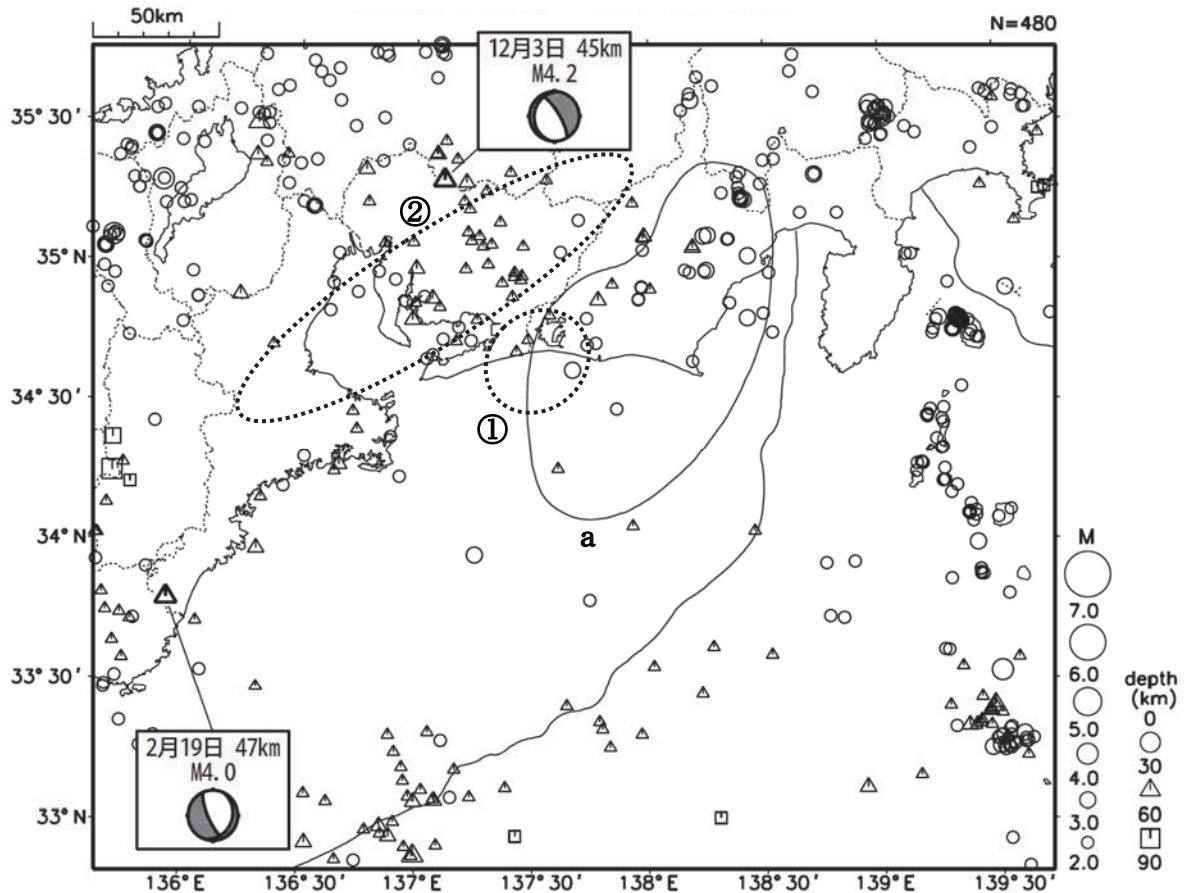


図 1 震央分布図（2014 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日：深さ 90km 以浅、M2.0 以上。図中の領域 a は東海地震の想定震源域）東海から東南海にかけて M4.0 以上の地震に吹き出しをつけた

- ① 平成 25 年はじめ頃から、静岡県西部から愛知県東部にかけての GNSS 観測及びひずみ観測で、通常とは異なる変化が観測されている。この通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界で「長期的ゆっくりすべり」が発生している可能性を示しており、現在も継続している。
 - ・ 1 月 22 日～27 日（三重県から愛知県）
 - ・ 2 月 3 日～6 日（愛知県）
 - ・ 3 月 20 日～22 日（長野県南部）
 - ・ 4 月 9 日～16 日（愛知県）
 - ・ 4 月 21 日～29 日（愛知県東部）
 - ・ 5 月 5 日～7 日・25 日（三重県）
 - ・ 7 月 4 日～20 日（三重県から和歌山県南部）
 - ・ 7 月 27 日・31 日（愛知県西部）
 - ・ 8 月 4 日～9 日（長野県南部）
 - ・ 8 月 8 日（伊勢湾）
 - ・ 8 月 30 日～9 月 5 日（愛知県西部）
- ② 長野県南部から三重県までを震央とする深部低周波地震活動を次の通り観測した。
 - ・ 1 月 1 日（長野県南部）
 - ・ 1 月 4 日・9 日～14 日（三重県）

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

〔東海地域の地震活動の頁で使われる用語〕

・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」（プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域）あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ（前兆すべり）が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で、2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生していたとされているゆっくりとしたすべり。過去にも何回か同様の現象が発生していたと考えられている。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。